

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社エンジョイ プレイランド		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	倉庫の広さを活かした広いプレイルームがあります。	安全に活動ができるよう、厚みのあるマットを敷いてあります。広さを活かして、いくつもの遊びを一度に行うことができます。その際には、安全の為、遊具などを使って仕切って行っております。	自由時間には、サッカー、ドッジボール、野球、鬼ごっこなど広さを活かした遊びを行っています。
2	専門性を持ったスタッフが勤務しています。	保育士、理学療法士、教員免許など様々な経歴の職員が勤務しています。 鈴鹿バイオレットアイリスハンドボールチームに所属の選手が勤務しており、運動に特化した発達支援を行っています。	理学療法士が病院同行を行い、病院でのリハビリ内容を共有し、リハビリも取り入れています。
3	従業者向けの研修が充実しています。	会社全体での研修や事業所内での研修が充実しており、専門性を高める研修から福祉制度についてなど様々な研修を行っています。	外部研修への参加を増やし、視野を広げる取組を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を持っていない。	現在計画を立てていますが、感染症などの観点から交流が難しいことが要因として上げられます。 コロナは、5類になり緩和されていますが、マイコプラズマや手足口病など様々な感染の恐れがある為、計画が進んでいません。	交流では、学年で分けたり、人数を少なくするなど工夫が必要では無いかと考えています。交流先との連携強化も行っています。
2	父母の会の活動支援やきょうだい交流イベントが開催が少ない。	父母の会の活動支援を年2～3回行っています。きょうだい交流としてプレイランドの解放を行っています。SNSやお便りにてお知らせしていますが、周知徹底出来ていないことが課題です。	父母の会や兄弟イベントを増やしたり、内容を検討し直すなど来年度の計画の見直しを行います。
3	空調設備、環境整備の必要性がある。	倉庫内の為、夏暑く、冬寒いのが課題ですが、大きな冷風機が二台、エアコンが教室内に2台保健室に1台事務所に1台あります。夏は、プールをするなど工夫はしていますが、空調整備が課題です。	冷風機、スポットクーラーの見直しや暖房器の検討を行います。